

地域連携推進会議 議事録 のんのハウス梅田レジデンス

【会議情報】

日時：令和 8 年 9 月 10 日(木)13:30～

場所：のんのハウス梅田三恵

対象事業所：共同生活援助事業所(グループホーム)

議事録作成日：令和 9 年 9 月 11 日

参加者：・利用者 O 様 ・ご家族 A 様 ・民生委員 I 先生 ・職員 Y、K、N

【事業所概要】

法人名：一般社団法人楠の木会

事業所名：のんのハウス 2

所在地：東京都足立区梅田 4-9-10

サービス種別：共同生活援助(グループホーム)

定員：5 名(男性 5 名) 障害種別：精神・知的・身体

主な支援内容：食事提供／体調確認／生活相談／服薬確認／金銭管理支援／清掃・洗濯支援／関係機関連携

【会議目的】

令和 7 年度から義務化された地域連携推進会議として、利用者が地域で安心して暮らし続けられるよう、事業所と地域関係者が情報共有・意見交換を行う場として開催した。

【運営方針・支援体制】

・利用者の意思と人格を尊重した支援 ・家庭的で安心できる住環境 ・医療機関・相談支援・行政・地域との連携 ・職員間の情報共有、事故防止、虐待防止、災害対応 ・職員体制：管理者 1／サビ管 2／世話人 6／生活支援員 3／夜間支援員 9

【地域との関係】

・日常のあいさつ ・生活音やごみ出しへの配慮 ・近隣からの意見への迅速な対応
・地域行事への参加 ・事業所理解の促進

【報告事項】

●苦情・要望(2 件)

1. 利用者が不満を書いた紙を自治会掲示板へ貼付 → ルール説明
2. 浴室換気扇の騒音 → 老朽化判明、交換、近隣へ説明

●事故報告(1 件)

杖忘れによる単独外出 → 近隣住民が保護 再発防止:外出前の持ち物確認・連絡カード携帯

●ヒヤリハット(1 件)

自室で喫煙 → 喫煙所利用を促し安全確保

●虐待防止・権利擁護

虐待該当なし 意思確認・選択支援・身体拘束なしの支援継続

●防災・BCP

防災カーテン設置／消防検査完了／年 2 回の消防訓練

【利用者の様子・レクリエーション】

・食事量・表情・会話・服薬状況から健康確認 ・通所前の体調・持ち物確認 ・帰宅後の聞き取りと情報共有

レクリエーション:

・令和 7 年 6 月:夢庵 ・令和 8 年 1 月:梅田神明宮 ・令和 8 年 7 月:焼肉きんぐ

【施設見学】

施設見学では、共有スペースや水回りの清潔さ、安心できる住環境、職員の利用者を尊重した声かけ、防災設備・避難経路・安全面について確認していただいた。見学中に気づいた点は、その場または会議後に共有していただき、外部の視点を今後の支援と運営改善に活かすことができた。また、利用者の生活の場であるため、居室、私物、個人情報には十分配慮していただいた。

【意見交換・質疑応答】

質問：生活上のルールの支援方法

回答：共同生活に必要なルールを丁寧に説明し、本人の意思と主体性を尊重した段階的支援を行う。

【会議のまとめ】

1. 事業所概要・障害理解・支援体制を共有
2. 苦情2件・事故1件・ヒヤリハット1件の対応確認
3. 地域住民の見守りが安全につながった事例を共有
4. 会議内容・助言・対応事項を整理し、個人情報に配慮して共有
5. 次回会議・施設訪問は日程決定後に案内